

統合科目

解剖学・口腔解剖学

- 《履修上の留意事項》
1. 講義時間数に限りがあり、重要な内容のみを扱うため講義中は集中して受講すること。
 2. 講義内容を聞き取り、絶えずメモを取ること。
 3. 質問は後回しにせず、その都度すること。

《担当者名》 歯学部特任教授 / 入江 一元 歯学部助教 / 高橋 昌己 歯学部助教 / 渋井 徹

【概要】

専門基礎知識の整理し、専門臨床科目の知識をより深めるために、

1. 頭頸部の 骨格、骨格筋、脈管、神経、口腔などの内臓についての重要事項の知識を整理理解する。
2. 全身の10器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、脈管系、神経系、感覚器系）の構造とはたらきを整理理解する。

【全体目的】

解剖学的知識、特に頭頸部の構造に関する知識を整理統合し確認する。

【学修目標】

1. 頭蓋を構成する骨をを列挙する。
2. 頭蓋にみられる孔、管、突起などを指示する。
3. 上記の構造を通過する神経や動脈、付着する筋や靭帯を説明する。
4. 顎関節を構成する骨、円板、靭帯を説明する。
5. 含気骨と副鼻腔を列挙する。
6. 表情筋、咀嚼筋、舌筋、舌骨上筋、舌骨下筋を列挙し、運動を説明する。
7. 開口筋と閉口筋を説明する。
8. 心臓の構造と血液循環を説明する。
9. 大動脈からの分枝、外頸動脈・頸動脈・顔面動脈・舌動脈の分布を説明し、拍動を触知できる動脈を列挙する。
10. 頭頸部のリンパ節を列挙を列挙する。
11. 中枢神経の構造、区分、はたらきを説明する。
12. 三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経の走行・分布とはたらきを説明する。
13. 口腔の構造を説明する。
14. 舌にみられる構造を説明する。
15. 大唾液腺と小唾液腺の位置と構造、分泌神経を説明する。
16. 咽頭を構成する筋と運動を説明する。
17. 喉頭を構成する軟骨、筋、脳神経を説明する
18. 人体を構成する10器官系を列挙する。
19. 各器官系を構成する器官（臓器、内臓）を列挙する。
20. 各器官（臓器、内臓）の働きを説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	頭頸部の骨と筋	頭蓋（脳頭蓋と顔面頭蓋）を構成する骨と頭蓋にみられる孔・裂・突起・窩を説明する。 含気骨と副鼻腔を説明する。 顎関節を構成する骨、関節円板の構造、靭帯の種類を説明する。 蝶形骨、側頭骨、上顎骨、下顎骨、舌骨など個々の骨を説明する。 頭頸部の筋を列挙し、支配神経を説明する。 上記の骨格筋の運動を説明する。 プリント配布	高橋 昌己
2	頭蓋骨を用いた写真問題演習	国家試験や模擬試験を参考に演習問題を頭蓋模型を通して説明する。 プリント配布	高橋 昌己
3	神経 1) 中枢神経系 模擬試験解説	神経単位（ニューロン）を説明する。 脳の種類を列挙する。 大脳の機能局在を説明する。 脊髄の構成を説明する。	入江 一元

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		プリント配布 これまで行われた模擬試験を解説する。	
4	器官系 1) 骨格系 2) 筋系 3) 消化器系 模擬試験解説	人体を構成する骨の種類を列挙する。 軟骨内骨化と膜内骨化を説明する。 筋の種類とその代表例を説明する。 人体の基本的な運動を説明する。 消化器系で、消化管と消化腺を構成する器官(臓器、内臓)を列挙する。 消化管と消化腺を構成する器官(臓器、内臓)の働きを簡潔に説明する。 プリント配布 これまで行われた模擬試験解説する。	高橋 昌己
5	神経 2) 三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経 模擬試験・卒業試験解説	12対の脳神経を列挙する。 三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経の走行・分布や働きを説明する。 プリント配布 これまで行われた模擬試験と卒業試験を解説する。	入江 一元
6	器官系 4) 内臓学 口腔、舌、口腔粘膜、咽頭、喉頭、唾液腺 5) 呼吸器系と体循環	口腔を説明する。 口腔前庭と固有口腔にみられる構造を列挙する。 舌にみられる構造を説明する。 口腔粘膜を分類し説明する。 咽頭を構成する筋を列挙する。 大唾液腺と小唾液腺を列挙し、分泌部位を説明する。 鼻腔、口腔、喉頭、咽頭の位置関係を説明する。 上気道と下気道を構成する器官を列挙する。 喉頭を構成する軟骨と筋、運動と支配神経を説明する。 心臓の構造を復習し、頭頸部へ向かう動脈の経路を復習する。 心臓を中心にして全身を循環する、動脈系、静脈系とリンパ系を説明する。 プリント配布	渋井 徹
7	器官系 6) 泌尿・生殖器系 7) 内分泌系 8) 感覚器系 9) 頭頸部の循環器系 模擬試験解説	泌尿生殖器系を構成する器官を列挙する。 内分泌と外分泌の定義と、分泌腺の種類を説明する。 内分泌器官の種類と分泌ホルモンを列挙する。 感覚器の機能と構造を説明する。 外頸動脈、顎動脈、顔面動脈、舌動脈の分布領域を説明する。 所属リンパ節を説明する。 プリント配布 これまで行われた模擬試験を解説する。	渋井 徹

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験(100%)

【教科書】

全国歯科衛生士教育協議会 監修 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版

2012年

全国歯科衛生士教育協議会 監修 「人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学」 医歯薬出版 2011年

【参考書】

井出吉信 監修 「口腔顎顔面解剖ノート」第2版 学建書院 2022年

【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容について復習しておくこと。

事前に配布したプリントの問題を解いて授業に参加すること。

予習：60分 各授業内容について事前に教科書を参考に予習する。

復習：60分 授業で指摘された内容を整理し演習問題を用いて復習する。